



静岡県地方版  
第355号  
2021-7-15

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
〒427-0034  
静岡県島田市伊太  
1301-18早崎方  
TEL・FAX  
0547(36)4014

私たちの  
運動の基本

## ワクチン接種、市民の不安解消を

県本部理事 寺尾 昭

コロナ対策としてワクチン接種が、医療従事者、高齢者から今、年齢の若い層へ順次進められています。感染対策として決め手になるとも言われ、国の指示を受け各自治体がまさに総力をあげて取り組んできました。しかし自治体による進捗の「格差」は大きく、静岡市は立ち遅れています。6/2開催の市議会厚生委員会では、6月末で65歳以上では、2回まで接種した人はまだ18.5%、1回は46.5%という状況です。7月に入り64歳以下の方への接種券発送が始まりましたが、今後スムーズな接種が保証されるのか問題が生じています。接種対象年齢すべてに見合うワクチンの供給があるのかかわらないとの報告です。千人以上の企業を対象にした職域接種はワクチン不足が原因で停止が決定されており、これを聞くと不安は募ります。

ワクチンは国が確保し各自治体に供給していますが、

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

ここでも菅政権の無能力と無責任ぶりが表れています。早期に実施をとの国の指示のもと、各自治体では対象者への通知や会場の確保、医療従事者の配置など準備に全力をあげていますが、反故になりかねません。担当の河野太郎行革担当大臣は、「当分は在庫のワクチンでやりくりして欲しい」という始末です。

市民からは多くの要望が寄せられています。接種券が届き早速予約をしようと指定の電話に何十回もかけたがつながらない。それではとネット予約を試みたが、これもアクセスできない。医療従事者の優先予約があったが、不特定多数の方と接触する仕事をしている人はほかにもいる。優先順位の基準を示してほしい。静岡市もネット予約システムの改修を進めると言っていますが、遅きに失した感は否めません。優先予約も介護施設などへの派遣事業により要望に応える姿勢を示していますが、十分に応えきれいません。コロナ禍での不安な毎日を送らざるを得ない市民に少しでも安心感を与える政治が望まれます。五輪強行は何をかいわんやです。

(静岡市・てらお あきら)

### 第十一回県本部理事会を開催

8月に開催する県本部大会の準備を兼ねた第11回県本部理事会が7月13日、静岡国労会館において県本部理事・監査15人の参加のもとに開催されました。

江川会長の「7/4投開票の都議選の結果、五輪中止を訴えた日本共産党が前進し、同じく中止・延期を公約した立憲が議席を伸ばした。『今夏の五輪はやるべきではない』という都民の民意ではないでしょうか。自分のかかりつけの医師もおっしゃっていた。命と暮らしより五輪優先の暴走は許されない。来るべき総選挙で市民と野党の統一による連合政権の実現をめざしてがんばろう」との開会あいさつに続いて山田副会長が情勢報告、早崎事務局長が活動のまとめと当面の課題について報告しました。

情勢報告では、1、東京五輪開催と感染リスクの問題 2、東京都議選の結果をどうみるか 3、県内情勢 4、国際情勢について語られました。

五輪開催問題では、当初5者協議（IOC、政府、大会組織委員会、東京都など）で観客数について全会場で定数の50%以内で一人を上限と決定していた。これは政府の新型コロナウイルス対策分科会の「無観客が最も望ましい」との提言を無視したものであった。しかし、各種世論調査でも中止、延期が60%（「朝日」）、都議選でも自公で過半数をめざしたものの遠く及ばない結果となり、東京での感染が拡大するも4回目の

緊急宣言事態宣言が出されるに至り1都3県の首都圏会場がすべて無観客となった。この動きは他の会場にも広がっている。

都議選では1、2、3人区で調整することで野党共闘が力を発揮、13勝。共産と立憲の議席34は自民の33を上回り、総選挙にむけて弾みをつけるものとなった。

県内情勢では、静岡県知事選でリニア問題が大きな争点となり川勝平太氏が自民候補を破って4選を果たした。共産党はこの選挙で川勝候補を自主支援した。熱海の伊豆山地域の土石流災害は、大量の盛土が流失しており単なる災害では済ませられない問題となっている。

国際情勢では、香港の日刊紙・リンゴ日報の停刊にみられるように、許されない中国による言論弾圧が続いている。また、中国共産党創立100周年で習近平氏が「台湾統一は歴史的任務、『台湾独立』のたくらみを粉碎」と緊張を高める発言。このようなかでもICANが調査報告書「非核の同盟」を公表、核禁条約の機運がNATO加盟国にも広がる状況が示されるなど大きな変化が生まれている。

### 全国大会に向け早期に500人会員実現を

活動のまとめと当面の課題の報告では、コロナ禍のもとですが、会員拡大で引き続き前進がはかられています。中部支部では、200人目標まであと一歩と迫っていました。支部委員会での意思統一を踏まえて拡大行動にとりくみ、目標を上回る201人に到達しました。支部委員会では11月に支部を2つに分割して新しい支部をそれぞれ立ち上げることで準備を進めています。しかし全県500人の会員を実現していくには全支部のとりにくみすることが不可欠です。来年6月に予定されている全国大会待ちにならず、当初どおり県同盟としては今年中に目標達成をはかっていくことが必要です。

### 劇映画「わが青春つきるとも…」を力に

題名も「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」と決まり撮影体制も急ピッチで進めている映画製作と上映のとりにくみを広げ、若い世代にも国賠同盟の運動を広く知らせる機会にしていきたいでしょう。

### 訃報

◇中部支部・橋本正紘さん、6月30日死去、79歳。  
元静岡県労働組合評議会特別常任幹事、元静岡県高等学校障害児学校教職員組合副委員長。  
ご冥福をお祈りいたします。

### 私と国賠同盟

清水支部 柏本 忠義

政治の無策のもとで、新型コロナウイルスが猛威をふるい続けている。菅政権は、国民にはいつまでも自粛を強いながら、感染拡大のリスクを「安全・安心」の空文句で覆い隠して五輪開催に突き進んでいる。感染の加速や死者の増加にいったい誰が責任を負うのだろうか。

思えばこの国では、かつての戦争についても（アメリカの世界戦略ともかわって）国の最高権力者・天皇をはじめとする戦争犯罪人たちが刑を免れたばかりか、その多くが戦後政治の中枢に居座って政界を牛耳ってきた。そして今、福島原発の事故でも、モリカケ・サクラをはじめとする政治の私物化の問題でも、誰ひとり責任をとっていない。

秋までには必ず総選挙が行われる。この選挙で、長く続く無責任な政治の在り方を変え、「すべての国民の前に明らかにし、誤りを犯せば責任をとる」という当たり前の日本の実現のために、国民、なかでも我々活動家を自負する者の「責任」が問われているのではないだろうか。

（かしもと ただよし）

会員拡大と国会請願署名到達

2021・7・13現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	5月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	6月当初	増分	現在到達	個人目標	6月当初	増分	現在到達
伊豆	30	22		22	6	50	0		0	350	0		0
沼駿	60	53		53	12	60	0		0	800	0		0
岳南	30	20		20	6	40	0		0	350	0		0
清水	50	36	+1	37	12	60	0		0	1,100	0		0
静岡	50	37		37	2	80	0	+2	2	500	0	+10	10
中部	200	199	+3-1	201	40	100	0	+4	4	800	0	+30	30
西部	80	60	+1-1	60	2	80	0	+1	1	750	0	+5	5
県本部	-	-		-		30	0	+1	1	350	0		0
合計	500	427	+5-2	430	80	500	0	+8	8	5,000	0	+45	45

\* 国会請願署名の集約は、6月より更新。

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

禍に生きる生命（いのち）いとおしみ 国憂う  
 WHOよ いまこそ語れ

ワクチンの 政策おくれ 30年  
 解明すべき 歴史のあゆみ

百年前（スペイン風邪）医者であった亡き父に  
 ワクチン 打って来ましたと告ぐ

水色の アガパンサスの 花灯り  
 暮れゆく野辺は 風ひとつなく

静岡 松浦美智世



編集後記

▼五輪開催ありきで突き進む政権のもとではコロナ対策も後  
 手後手感、右往左往ぶりが際立ってきました。酒類の扱いをめぐって銀行からの圧力や酒販売業者にまで酒の提供を止めよう求めたものの、業界からの批判をあびて撤回。方針決定の経過もあいまいにし、菅首相の責任も不問にしたままです。

▼方策への責任があいまいな政権に国民の命を託すわけにはいきません。今度の総選挙での政権交代が必要です。 S・H